

学校保健部事業報告書

事業名	第 65 回 よい歯のコンクール
担当部	学校保健部
実施月日	平成 28 年 7 月 1 日（土） 12：00～15：30
実施場所	であえーる（3 階）
参加人数	生徒 33 名、歯科医師会 6 名、歯科衛生士会 2 名
内容 主催は岩見沢市教育委員会 対象者は小学生 24 名と中学生 9 名の計 33 名（4 名欠席） 一般審査は三役から野崎副会長が参加 歯の審査は学校保健部から白井先生、山田貴文先生、土岐成則先生、山口の 4 名が参加 清掃状態の審査は歯科衛生士会から 2 名が参加 広報部から木村先生が取材で参加 野崎副会長による表彰および総評 教育委員会は入賞者の表彰状および景品、歯科医師会は参加賞を用意 欠席者には教育委員会を通して後日参加賞を送付 考察 一般審査の審査表を一部変更し良好な結果が得られた 歯の審査の審査表は更なる改善の余地ありと判断	
決算 歯科衛生士への当日手当 12,000 円（6,000 円×2 名） 参加賞 17,434 円 消耗品 2,030 円（次年度も使用可能） 計 31,464 円	

平成29年度 公衆衛生部事業報告書

事業名	8020コンクール
担当部	公衆衛生部
実施月日	平成29年7月1日(土)～7月31日(月)
実施場所	各歯科医院 (協力:20医療機関)
参加人数	82名 (80歳代:42名、70歳代40名)
【審査結果】 ・入選候補者へ電話連絡中 【周知方法】 ・8020コンクール実施案内およびポスター送付 ・8020コンクール開始1週間前、締め切り1週間前に会員にFAXにて連絡 ・参加者への「お知らせプリント」の配布 ・入選者確定後、審査結果をFAXにて通知 【課題】 ① 新規参加者の掘り起こし(平成25年度63名、平成26年度65名、平成27年76名、平成28年度75名) ⇒80歳代の部の参加が、70歳代を上回り8020運動の成果が伺える。 コンクールへの参加が、健康増進のきっかけになるように取り組む。 ② 協力医療機関の拡大 ⇒協力医療機関は、例年15医療機関程度であったが、今回は20医療機関に増加した。 会員やスタッフが実施内容を理解しやすいように、案内文や審査用紙などの簡略化などが必要と思われる。 【表彰式】 ・平成29年10月1日(日)13:40～ 岩見沢健康まつりステージにて	
【決算】 合計：68,429円(税込) 内訳 ①参加賞：68,429円(税込)	

追加資料です。宜しくお願い申し上げます。 8/22 榎谷

第 24 回 8020 コンクール審査結果(平成 29 年度)

審査日 平成 29 年 8 月 1 日(火)午後 8 時より

審査会場 岩見沢歯科医師会事務所

審査員 公衆衛生部

【80 歳以上の部】

最優秀賞	堀 利幸 様	80 歳	(岩見沢市)	品川歯科クリニック
優秀賞	小杉多嘉子 様	83 歳	(岩見沢市)	三嶋歯科栗沢医院
優秀賞	本間 昭悟 様	87 歳	(由仁町)	鳥山歯科医院
会長賞	藤井 千代 様	97 歳	(岩見沢市)	九津見歯科医院
特別賞	鈴木 俊英 様	81 歳	(岩見沢市)	川野歯科医院

*最優秀賞の 堀 利幸様は、北海道大会へ推薦

【70 歳代】

最優秀賞	鶴谷 義次 様	76 歳	(岩見沢市)	九津見歯科医院
優秀賞	山田 泰弘 様	75 歳	(岩見沢市)	九津見歯科医院
優秀賞	塚越 俊史 様	70 歳	(南幌町)	藤井歯科医院
会長賞	市川 清信 様	72 歳	(長沼町)	てらさわ歯科
特別賞	根本 敏裕 様	79 歳	(岩見沢市)	佐々木歯科

今年は、参加医療機関 20 医院のご協力のもと、80 歳代以上の部に 42 名、70 歳代の部に 40 名、合計 82 名のご参加を頂きました。初めて、80 歳代以上の応募者が 70 歳代を越えました。最高高齢者は、97 歳の方です。

日々のご診療でお疲れの中、審査にご協力賜りましたこと感謝申し上げます。

どうも有難うございました。

-岩歯公衆衛生部-

会長・専務会議報告

8月5日(土) 10:30~12:15 道歯会館2F大講堂

○会長挨拶・中央情勢報告

厚労省や自民党が支払基金・国保連合会の一元化や効率化、大規模なシステム環境整備を検討していることや、現実ではないがとしながらも、地域ごとの審査委員会も廃止し、ネットワークにより全国の審査を一か所に集約する、あるいは民間に開放するなどの構想があると紹介。

○会務運営

北海道役員連絡協議会が11月11日に変更になった。終身会員、岩見沢では本間純先生。

○学術

今年度の助成について説明、今年度研修セミナーの紹介。

○地域医療

全国共通がん医科歯科連携講習会が岩見沢で予定されている。6時間の講習会。

歯科検診が含まれた協会けんぽの集団検診が旭川・函館・札幌で初めて行われる。

○学校保健

北海道の12歳児DMFTが1.1本となり、新潟県の0.4本には遠く及ばないものの、全国46位から31位に上がった。フッ化物洗口を実施する市町村が増えた。

学校歯科医会入会者数、岩見沢は20%を超えた。

○広報

道歯会通信へのチラシ同封による広告収入が増えている。さらに紹介してほしい。HPをリニューアルした。訪問者数の増加を目指す。D○歯メールの登録者数も増やしたい。

○社保・国保

介護給付費の書面(紙媒体)による請求における「免除届出書」を提出した方が良い。個別指導、特に新規個別指導の件数が増加している。非会員の再指導・廃止の率が高い。高額療養費の上限額が今月から引きあげられた。

○福祉厚生

日歯福祉共済保険の改正により、死亡時の保険金額が400万円から300万円に下げられた。

○医療管理

医療管理ネットワークシステムを立ち上げたい。全道からのクレーム事例を集めたい。

札幌歯科医師会管内220万人に対し、毎月30件ほどの苦情電話が来ている。全道500万人においては毎月70~80件あるのではないだろうか。

<質問・要望等>

○医療費の中で糖尿病・高血圧に対する給付が大きなウェイトを占めている。食事指導を含め“歯科”が治療に参加できるよう努力してもらいたい。

○衛生士学校・技工士学校の入学者が少ないので、全道の歯科医師会の先生方に協力をお願いしたい。

○旭川の12歳児DMFTは1本を切った。抵抗勢力も依然ありフッ化物洗口導入に際しては非常に苦労したがこれからも頑張りたい。(※薬品が今後高価になる可能性あり)

○日曜の当番医を行っているが、1日平均1.7名の受診しかないことについて。

郡市区公衆衛生担当理事連絡協議会（報告書）

平成29年8月5日（土）14:00～

北海道歯科医師会館 出席：樋浦、山田

【地域保健・産業歯科保健 関係】

- ① 6月4日～6月10日：歯と口の健康週間
- ② 7月7日：親と子のよい歯のコンクール審査会・表彰式
優秀賞 岩見沢 樋口 加奈子さん 鈴花ちゃん 親子
- ③ 8月19日（土）：道民公開公開講座 パークホテル（道歯学会1日目）
・講演：おいしく食べて健康長寿（高橋 英登先生、森崎 博之氏）
- ④ 10月18日：高齢者の歯のコンクール審査会
岩見沢 8020 コンクール 80歳代の部最優秀入賞者選出予定
本年度は、道歯主催の式典がないため、郡歯より入賞者へ伝達、表彰する。
賞状や副賞は、郵送ではなく手渡しで行ってほしいとのこと。
- ⑤ 11月11日：第38回全国歯科保健大会（富山）

【地域医療 関係】

- ① 障がい者歯科医療協力医：更新のための講習会（札幌、空知）
- ② 障がい者歯科医療協力医制度実地研修 講義・演習コース（釧路、後志）
- ③ 特殊な対応を要する基礎疾患を有する患者に関する
歯科保健医療の研修会（札幌、室蘭）
- ④ 北海道歯科医師会 BLS&DCLS コース（十勝、岩見沢 10/29、釧路、留萌）
- ⑤ 全国共通がん診療医科歯科連携講習会
（札幌医科大、小樽市立病院、北海道中央労災病院－調整中）
- ⑥ 歯科医療従事者認知症対応力向上研修事業（札幌、函館、旭川、北見、十勝、釧路）
- ⑦ 糖尿病と歯周病に関わる研修会（札幌、小樽）
- ⑧ 糖尿病と歯周病に関わる市民公開講座（十勝）
- ⑨ 糖尿病患者に対する歯科口腔保健教育支援事業（20施設）
- ⑩ 地域医療シンポジウム：8月20日 11:20～12:50（道歯学会2日目）
演題：地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療連携への取り組み
（在宅歯科医療連携室整備事業：協議段階）

【北海道保健福祉課：健康安全局地域保健課 関係】

- ① 8020 運動推進事業
- ② 歯科医療安全管理体制推進特別事業
- ③ 歯・口腔の健康づくり 8020 推進条例事業
フッ化物洗口普及支援事業他

実施市町村：169 未実施：10（月形含め）

*帯広において、使用しているフッ化物について試薬の使用は、控えるように地域薬剤師会より依頼があった。ただし、日本薬剤師会より正式な通達は出ていない。今後、試薬が使用できなくなる可能性があるとのこと。

平成29年度 広報部事業報告書

事業名	郡市区歯会広報担当理事連絡協議会
担当部	広報部
日時	平成29年8月5日（土）14：30～15：30
実施場所	北海道歯科医師会館5階 第一会議室
内容	藤田会長より、「会員に対し情報を正確かつ迅速に伝達することが、広報部の一番の使命であるのでよろしくお願いしたい」との挨拶があった。 1. 報告事項 ① 対外広報活動助成金は例年と変わらず、1歯会一事業10万円を限度とし申請期間は9月末まで。 ② 対外広報活動として、8月17日の道新朝刊に意見広告を掲載。 ③ 道歯HPについて、本年4月にリニューアルされた。 ④ 「Do歯メール」配信について、登録会員数は1,000名を超えたが、全会員の登録を目標としているので宣伝して欲しいとのこと。 2. 協議事項 ①道歯会通信の担当号の割り当てについて、会員数を考慮して行うとのことでは平成31年度10月1日号（9月10日締切）が担当となった。尚、29年度及び30年度は担当なし。 3. その他 日歯より、「ベストスマイル・オブ・イヤー2017」に新たに「デンタルスマイル部門」を設けたので、広く会員や学生等から笑顔写真を募集するとの依頼があった。 4. 閉会 感想 道歯ホームページのリニューアルに伴い、「郡市区歯科ページ」の更新方法が簡単になったので、D,newsでは紙面の都合上掲載できなかった話題もアップするようにしたい。